

にいざ 歴民だより

第10号（平成26年10月）

発行：新座市立歴史民俗資料館

新座市片山一丁目21番25号

電話 048-481-0177

FAX 048-481-0149

Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp



「園庭の彼岸花＝曼珠沙華」

★空高く、空気は澄み、月が美しく輝いて見える季節です。

連日の厳しい暑さもようやく過ぎ、朝晩ひんやりした空気を感じるようになると、菊の花が美しく咲き始めます。実りの季節、稲刈りも終わると各地で収穫を祝い、神様に感謝する秋のお祭りが行われます。また、これから台風シーズンにも入り、日本列島は、その通り道になっています。

大雨や突風、土砂災害に心配しなければならない日が続くのでしょうか！そんな中、いよいよ今年も11月3日に『歴民の集い』が盛大に開催されます。皆さん、お誘いの上ご参加ください！



資料館トピックス（7月～9月）



↑「ガイド中のボランティアさんです。」

★毎週土曜日・日曜日は『館内ガイドボランティアさん』が活躍中です！

ご来館の皆様に、新座の歴史をより深くご理解いただけるよう、ご協力いただいています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

★郷土史セミナー「～引又道を訪ねる～」を開催しました。

7月19日（土）に開催された郷土史セミナーは、かつて江戸から明治の世にかけて、新河岸川の舟運で賑わった引又河岸（現志木市）や引又道については、意外に知られておらず丹念に調べ上げた資料を基にした講義に、受講された皆さん興味深く聞き入っていました。



←「講義風景」

「市内の道標石仏を検証する一行」→



★夏休み子ども文化財講座

「野火止用水沿いの自然観察会」を開催しました。

8月19日（火）に開催された夏休み子ども文化財講座は、あらかじめ用意された資料を使い野火止用水の基礎知識を得た後、移動学習に移り野火止用水沿いを歩きながら植物観察を行って、植生や特徴、観察の仕方など学びました。途中、所々で休憩を取りながら、夏休みの自由研究や楽しい思い出として最後まで皆、元気で予定のコースを完遂できたことは何よりの体験となったことでしょう。皆さん、お疲れ様でした。



★ 特別企画展「瀧島浩二氏の水彩画展」及び 特別講演会を開催しました！！

懐かしさと癒やしの画文集「童で綴る郷土」の作者、瀧島浩二氏（新座市在住）の水彩画の展示と同氏による特別講演会が8月24日（日）に開催されました。作者自身の幼少の頃の思い出と水彩画を基にした「童で綴る郷土シリーズ」と題する熱のこもったお話は、往時の記憶を思い起こさせるような懐古調の語りは、参加者の共感を呼びながら盛況のうちに終了しました。

また、水彩画の展示は、8月23日（土）から9月7日（日）まで行われ、多くの方々に鑑賞していただきました。



★ 「歴民の集い」開催のご案内

11月3日（月）「文化の日」に第3回「歴民の集い」を開催します。

内容は、レプリカ甲冑の着用体験や歴史講座及び講談です。

甲冑の着用体験は、申し込み順です。

受付は、直接、または電話で10月10日（金）から開始します。

プログラム

◎午前の部 「甲冑着用体験」

午前10時から正午（定員10名程度：申し込み順）

レプリカ甲冑の着用体験を行います。

戦国武将になりきって、記念の写真を撮りませんか？

◎午後の部 「松平信綱と野火止用水にまつわる講義と講談」

午後1時から3時30分（定員30名程度：申し込み順）

講師：大東文化大学教授 宮瀧 交二 氏

講談：講談師 神田 山吹 師匠

探しています！

～常設展「昔の暮らし」展示品の充実にご協力ください！～

常設展示の「昔の暮らし」コーナーを充実させるために次の品物の寄贈を募っております。

①石油ランプ（照明器具）②そろばん（上玉が2つ、下玉が5つ）③蠅帳（食卓用の蚊帳）

ご協力いただける方は、事前に歴史民俗資料館にご連絡ください。お待ちしております！